

集会所にカギらない

地域の公民館や集会所はいつもカギがかかっている。集會や地域行事がある時にしか開かないのはすこし寂しい。そこで、集会所の一部を常時開放できる外部通路を介してふたつのスペースを計画し、さらに軒下に縁側をまわすことでいつも住民の拠り所となる集会所を提案する。

カギのかけられた公民館

公民館があってもカギがかけられていて使いたい時に自由に使えないという問題がある。

公民館っていつも開いてるわけじゃないから、使いたい時に使えないんだよな。

でもきちんとセキュリティは管理しておきたいし。

カギのない空間

カギをかけられる部屋といつでも自由に使えるカギのない部屋を再立しよう！

少し公民館を使いたいという時でもカギを毎回開けなくていいから管理もラクになるね！

キッチン
トイレ
倉庫

フリー
スペース

通路でつなぐ

通路を中心に日常的に人が集まる公民館をつくる。

カギのかけられた空間

カギのない空間をプラス

間に通路をつくる

角度やボリュームをつけて人の集まる場をつくる

狭くしたり、広くしたり

使い方やその場の状況に合わせて空間を仕切りたり広げたりすることができる。公民館の使い方にも幅広く有効に活用される。

個室が欲しい時

イベントの時

広く使いたい時

軒の深い室内も明るく

通路上部の屋根材はポリカーボネートを使用。通路を通る人々が室内へと導かれるように、左右の部屋の屋根の一部もポリカーボネートとなっている。

ガルパ

ポリカ

夏

冬

使い方に寄り添う公民館

この公民館は団地だけでなく地域のコミュニティの活動にも寄り添い、様々な空間に変化することができる。

カギのない部屋のようす

● 団地美術館
地域の人や子供達の作品を飾る空間に。

● 団地図書館
読まなくなった本を寄付して小さな図書館に。

全体を使った時のようす

● 見守り所
学校帰りの子供達や団地に住む人の溜まり場になり自然と見守り所となる。

● マルシェ
週末に地元の食材を販売し、キッチンで調理して皆で味見。

団地住民による『家具作りワークショップ』

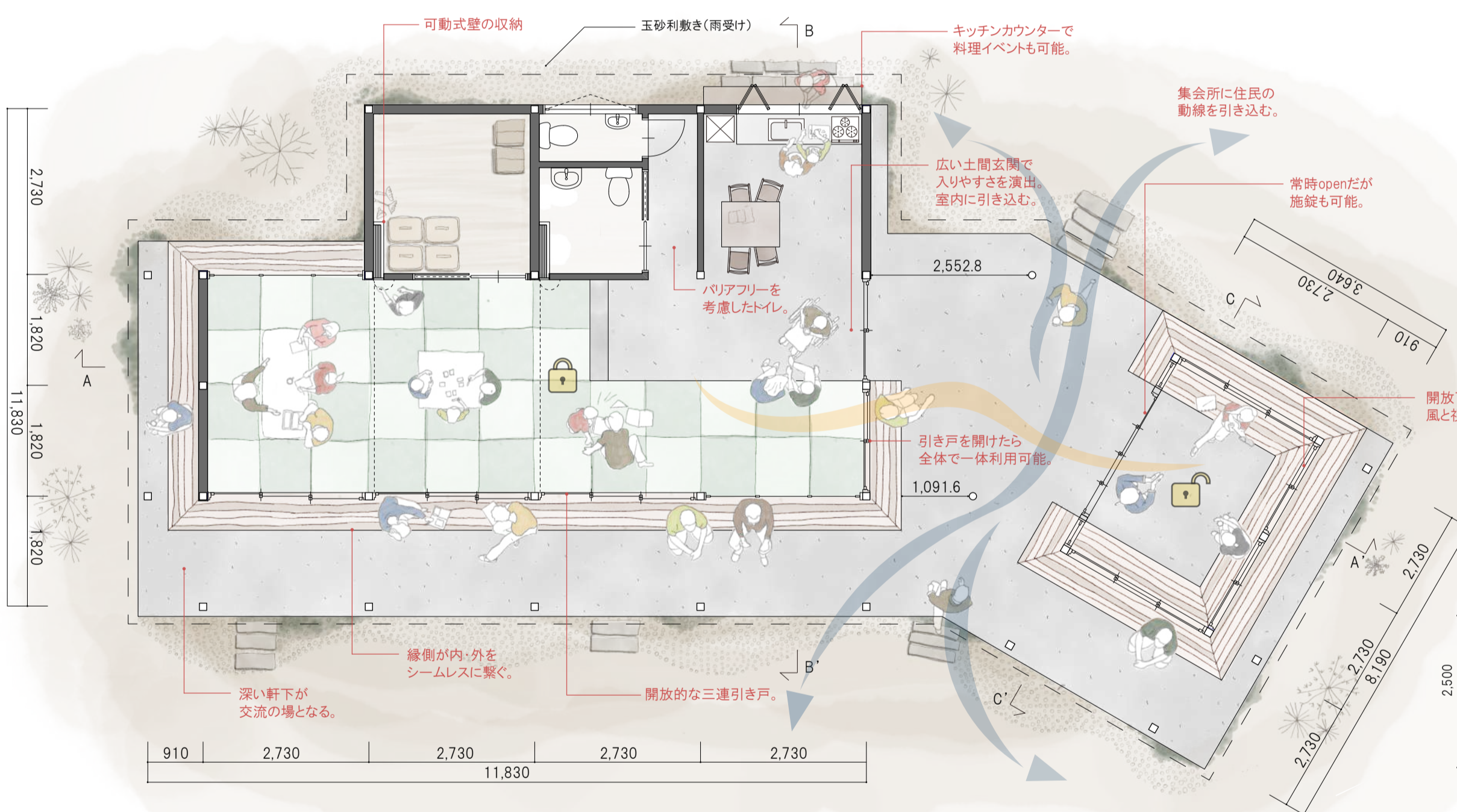
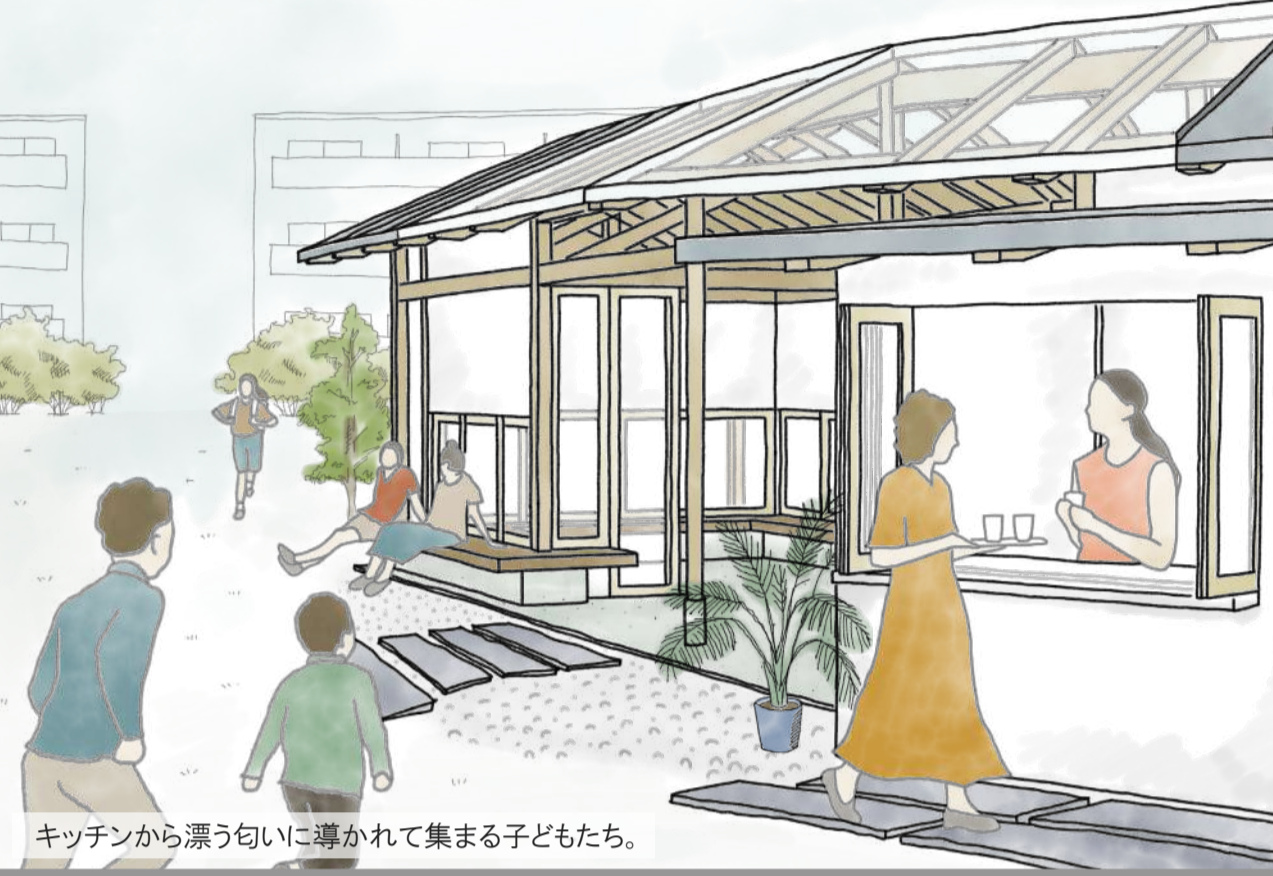
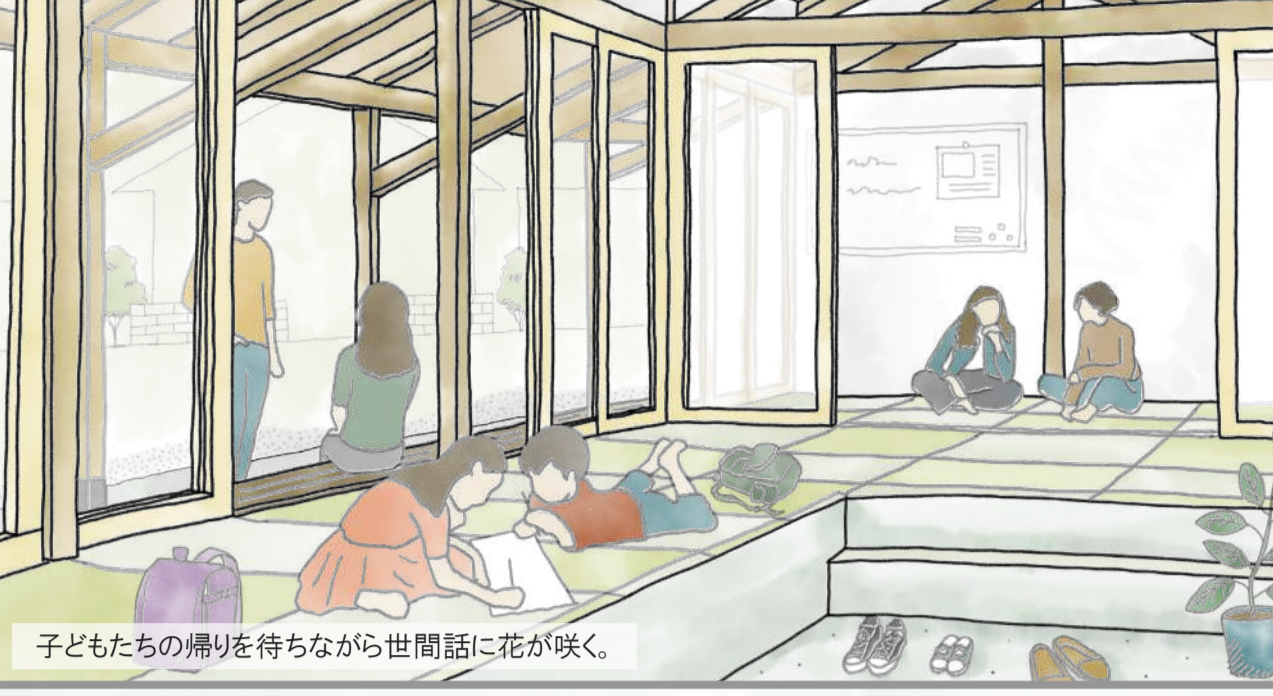


【POINT】

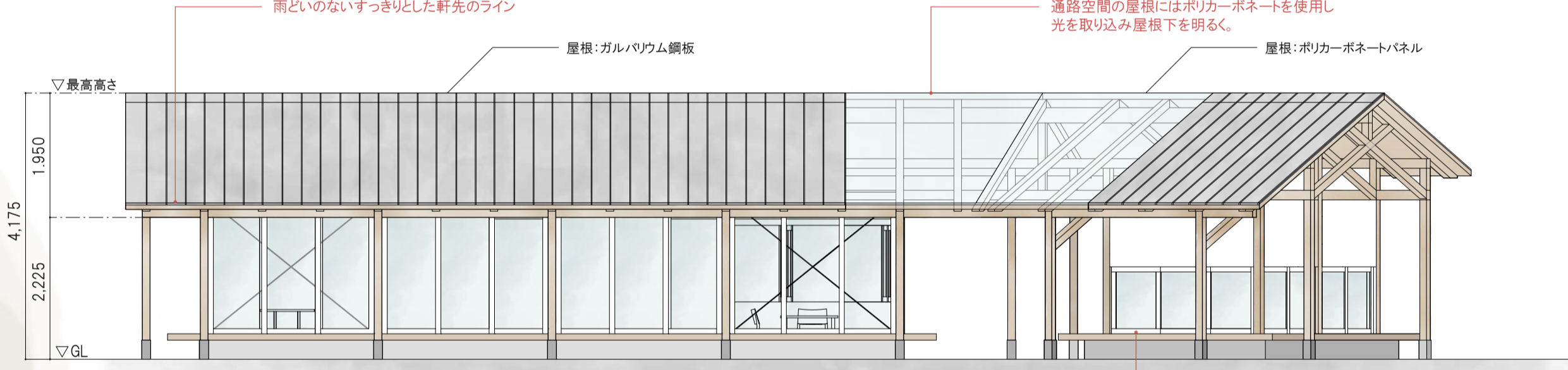
- ベンチ内収納
- 縁側の下から引き出すための取っ手
- 移動が容易なキャスター

断面図

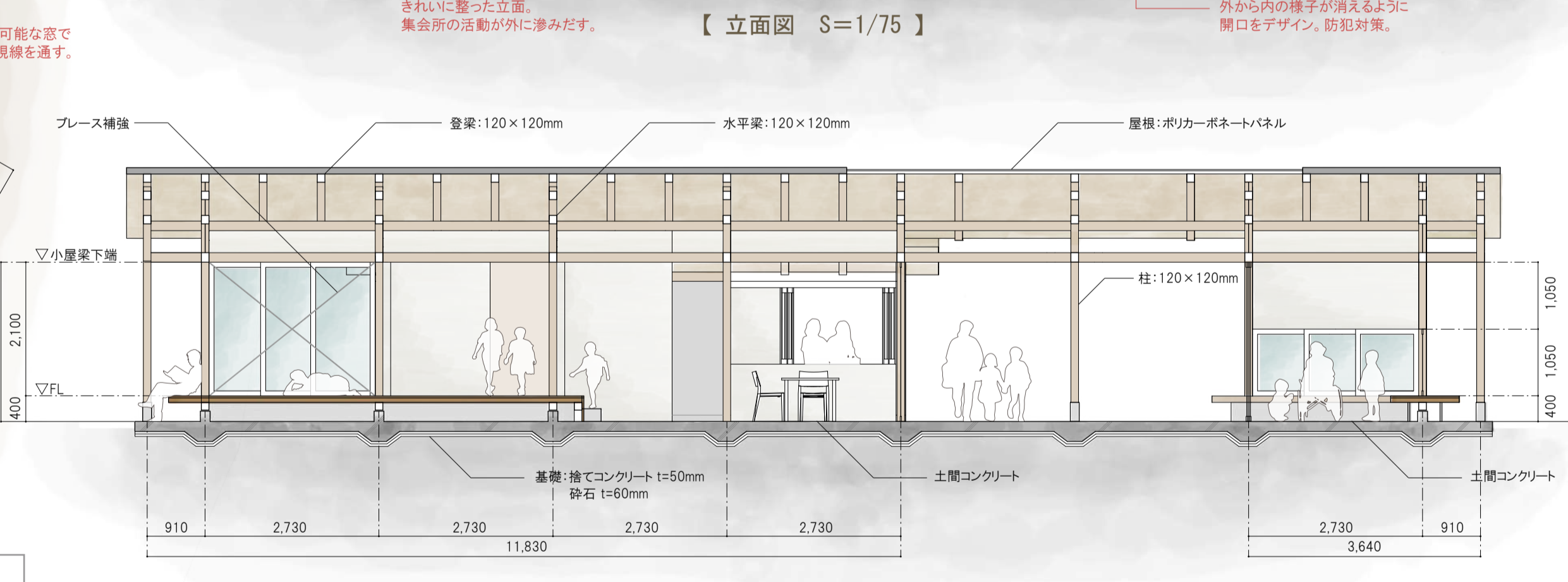
立断面図 (S=1/20)



【平面図 S=1/75】



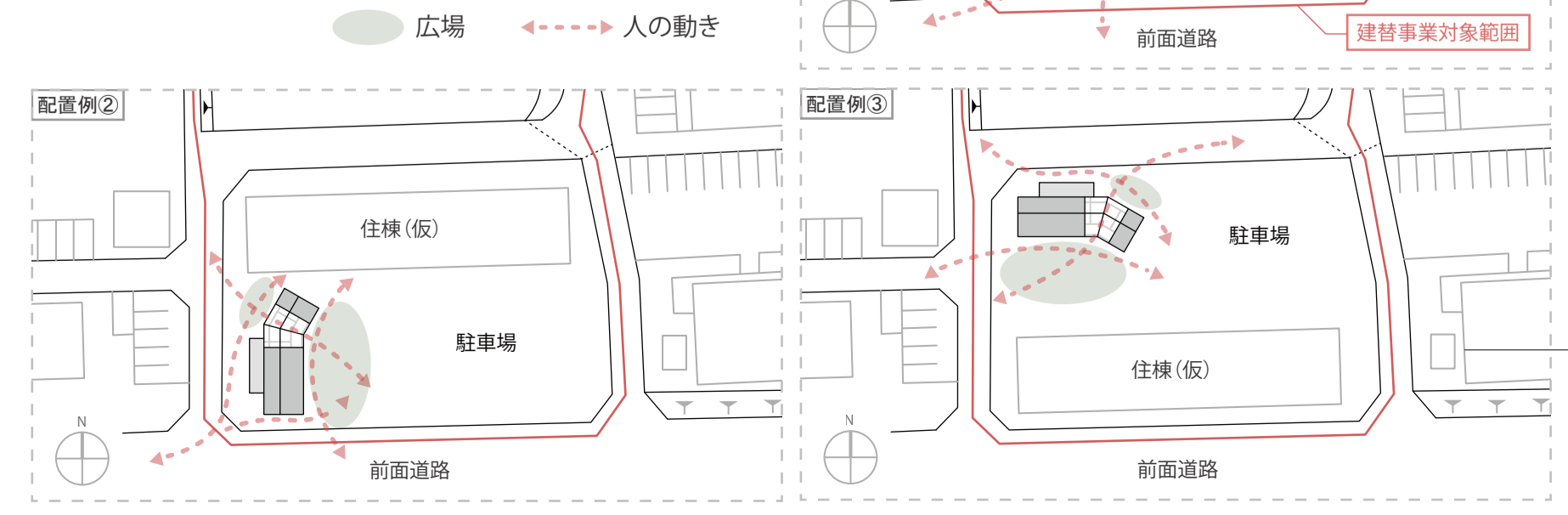
【立面図 S=1/75】



【A-A' 断面図 S=1/75】

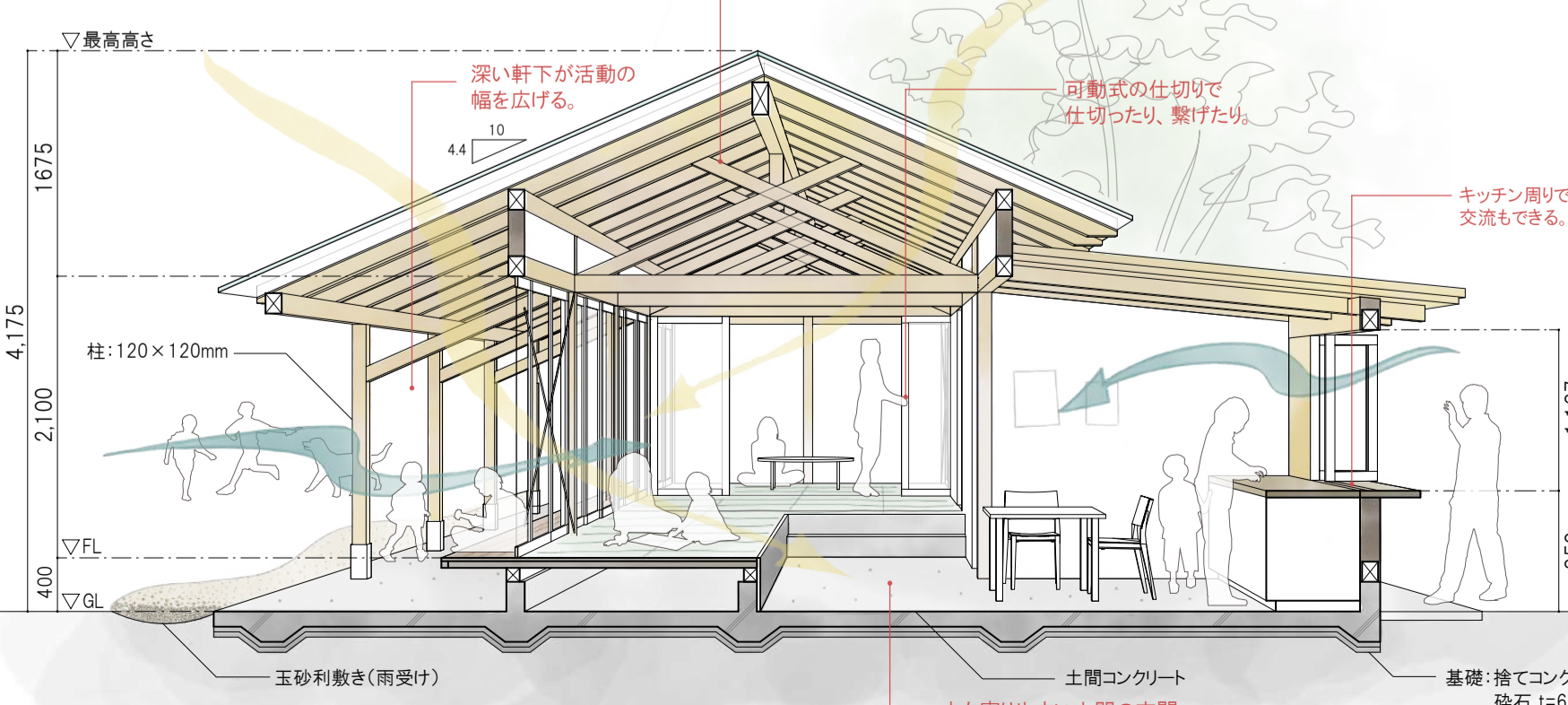
多様な配置計画に柔軟に対応する

敷地内における集会所の配置計画は未定である。そのため本集会所は建替事業対象範囲のどこにも配置可能な平面計画とした。屈折した平面と周囲の広場、建物を通り抜ける通路、広い軒下の縁側は柔軟に住民の生活に利用される。図は例として、集会所が建替事業対象範囲の南側に配置された場合の集会所と住民の動線、周囲との関係を示している。

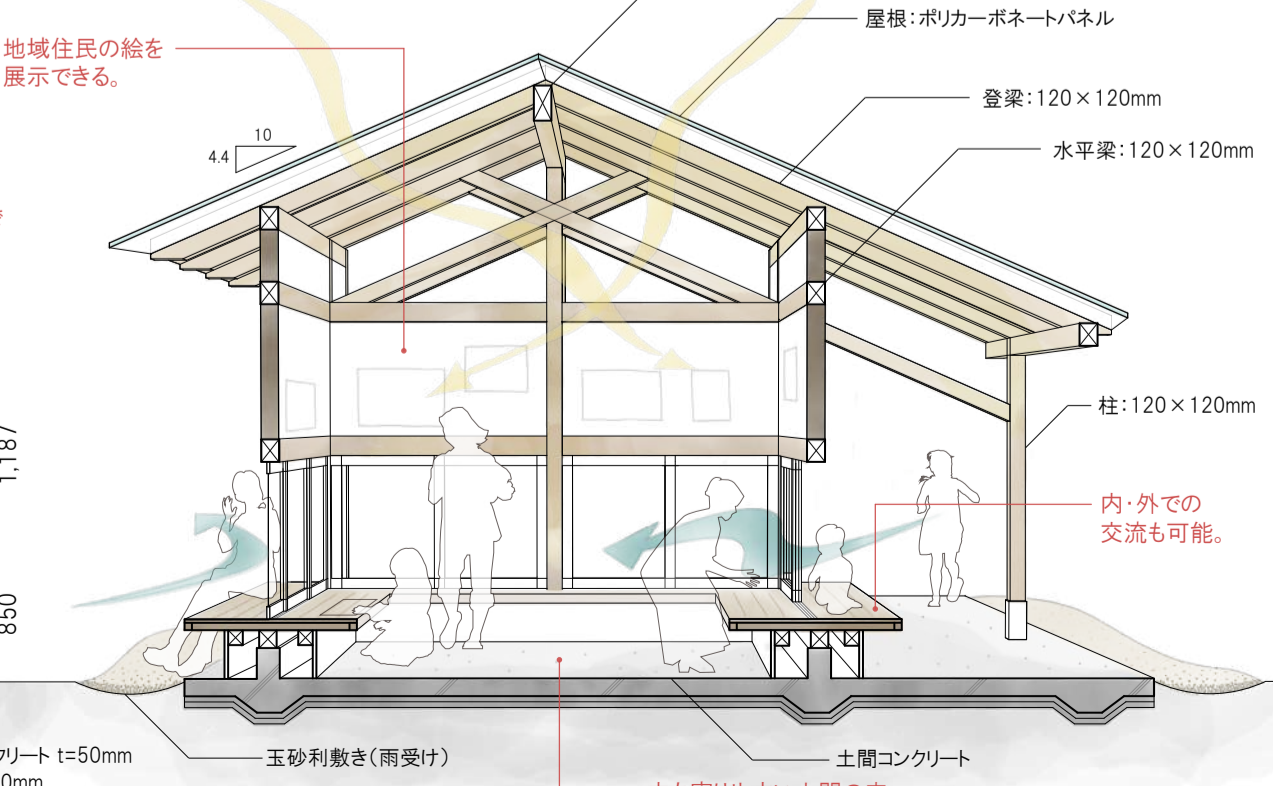


面積表 *縁側は面積に含んでいない。

区分	面積
集会所 (キッチン・玄関・通路を含む)	74.36㎡
便所	7.45㎡
倉庫	7.45㎡
合計	89.26㎡



【B-B' 断面図パース S=1/50】



【C-C' 断面図パース S=1/50】